

事業番号	05 10 08	事業改善シート（27年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	薬物乱用防止啓発事業			担当課	部局	健康福祉部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	薬事管理課	
	施策の総合的展開	4-2	県民生活の安全確保		E-mail	yakuji@pref.nagano.lg.jp	
		4	食品・医薬品等の安全確保	実施期間	S22 ~		

1 事業の概要

目指す姿	薬物乱用防止に関する意識の高揚を図り、覚醒剤、危険ドラッグ等の薬物乱用者を減少させる。		
現状（予算編成時）	依然として後を絶たない薬物乱用を防止するため、県民各層に対し、薬物乱用がもたらす健康被害と社会に与える重大な弊害を周知し、薬物乱用防止意識の高揚を図り、薬物乱用のない社会環境づくりを推進する必要がある。		
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 麻薬及び向精神薬取締法、第四次薬物乱用防止五か年計画	
	県民との協働による実施： 実施中	薬物乱用防止意識の高揚のため、県民との協働で街頭キャンペーン等に取り組んでいる。	

成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)			
	<ul style="list-style-type: none"> 「薬物乱用防止」意識啓発事業として、高等学校20校で講演会を実施する。 薬物乱用防止指導員による啓発や街頭キャンペーンを実施する。 			
	② 事業内容 (単位:千円)			
	項目	実施方法	H27事業実績	H27 (当初) (決算) H28 (当初)
	1. 長野県薬物乱用対策推進協議会の運営	直接	・長野県の薬物乱用意識の醸成のため、加盟団体を通じた啓発活動及び「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の実施	168 186 168
2. 若い世代への「薬物乱用防止」意識啓発委託事業	委託	・若い世代への薬物乱用防止啓発のため、高等学校で薬物乱用防止教室を実施 (実施回数:20回、委託先:長野ダルク)	504 504 504	
3. 薬物乱用防止指導員の活動	直接	・薬物乱用防止指導員(373名)が薬物乱用防止を図るため、各地元公民館や学校等で講師を務めるなどの啓発活動を実施	1,414 1,246 1,415	
4. 啓発用ラジオスポット放送	直接	・若い世代への薬物乱用防止啓発のため、FM長野のラジオスポットを活用して集中的な啓発活動を実施	427 427 427	
5. 薬物乱用防止に係る教育意識啓発事業	直接		0 0 233	
		合計	2,513 2,363 2,747	

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越				
	当初予算	2,540	2,554	2,513	2,747
	補正予算				
	合計(A)	2,540	2,554	2,513	2,747
	一般財源				233
	県債				
	国庫支出金				
	その他	2,540	2,554	2,513	2,514
	決算額(B)	2,388	2,539	2,363	
概算職員数(人)	1.70	1.70	1.70	1.70	
概算人件費	14,039	14,039	14,069	14,069	
概算事業費(B(A)+C)	16,427	16,578	16,432	16,816	

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28目標
		目標	成果	達成状況	
講演実施高等学校数	20校	20校	20校	達成	20校
指導員活動回数	708回	650回	580回	未達成	650回

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> 薬物乱用防止教室の講演会開催については、高校生が薬物依存経験者の体験談等を直接聞き、共に話し合う場となることから高等学校からの依頼が多く、上限である20校で実施し、若い世代の薬物乱用防止の意識高揚を図ることができた。 指導員活動回数については、事犯者に関する指導回数の減少により未達成であったが、地域住民や中・高校生等への薬物乱用防止啓発活動の実施回数及び対象者数は昨年度と同程度であり、受講者の感想文の内容等から薬物乱用がもたらす弊害を各事業で伝達できた。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	各高等学校からの希望が多い「薬物乱用防止意識啓発事業」の拡大を検討するとともに、長野県薬物乱用防止指導員による地道な啓発活動により、薬物乱用防止に関する意識の高揚を図っていく。